

静岡県における結果の概要

1 出生数は減少

出生数は25,192人で、前年の26,261人より1,069人減少し、出生率（人口千対）は7.0で、前年の7.3を下回った。

また、合計特殊出生率は1.50で前年の1.52を下回った。

2 死亡数は減少

死亡数は41,972人で、前年の41,078人より894人増加し、死亡率（人口千対）は11.7で、前年の11.4を上回った。

死因順位は、第1位が悪性新生物＜腫瘍＞（死亡数10,836人、死亡率（人口10万対）302.5）、第2位が心疾患（5,980人、166.9）、第3位が老衰（4,913人、137.2）となっている。

3 自然増加数は減少

出生と死亡の差である自然増加数は△16,780人で、前年より減少幅が1,963人広がり、自然増加率（人口千対）は△4.7で、前年の△4.1を下回った。

4 乳児死亡数、新生児死亡数は減少

乳児死亡数は50人で、前年より3人増加し、乳児死亡率（出生千対）は2.0で、前年の1.8を上回った。

また、新生児死亡数は30人で、前年より17人増加し、新生児死亡率（出生千対）は1.2で、前年の0.5を上回った。

5 死産数は減少

死産数は470胎で、前年より7胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）では18.3で、前年の17.8を上回った。

6 婚姻件数は減少

婚姻件数は15,768組で、前年より805組減少し、婚姻率（人口千対）は4.4で、前年の4.6を下回った。

7 離婚件数は減少

離婚件数は5,923組で、前年より60組減少し、離婚率（人口千対）は1.65で、前年の1.66を下回った。

表1 人口動態総覧

	静岡県							全国			
	実数		率		全国順位		平均発生間隔 (365日想定)	実数		率	
	30年 (確定値)	29年 (確定値)	30年 (確定値)	29年 (確定値)	30年	29年	30年	30年 (確定値)	29年 (確定値)	30年 (確定値)	29年 (確定値)
出生	25,192	26,261	7.0	7.3	27	23	20分51秒	918,400	946,065	7.4	7.6
男	12,865	13,474	7.3	7.6	…	…	40分51秒	470,851	484,449	7.8	8.0
女	12,327	12,787	6.8	7.0	…	…	42分38秒	447,549	461,616	7.0	7.2
死亡	41,972	41,078	11.7	11.4	30	30	12分31秒	1,362,470	1,340,397	11.0	10.8
男	21,587	21,193	12.2	11.9	…	…	24分20秒	699,138	690,683	11.6	11.4
女	20,385	19,885	11.2	10.9	…	…	25分47秒	663,332	649,714	10.4	10.2
乳児死亡	50	47	2.0	1.8	20	29	175時間12分0秒	1,748	1,761	1.9	1.9
新生児死亡	30	13	1.2	0.5	8	45	292時間0分0秒	832	832	0.9	0.9
自然増加	△ 16,780	△ 14,817	△ 4.7	△ 4.1	21	16	……	△ 444,070	△ 394,332	△ 3.6	△ 3.2
死産	470	477	18.3	17.8	43	45	18時間38分17秒	19,614	20,358	20.9	21.1
自然死産	224	243	8.7	9.1	44	38	39時間6分25秒	9,252	9,738	9.9	10.1
人工死産	246	234	9.6	8.8	38	42	35時間36分35秒	10,362	10,620	11.0	11.0
周産期死亡	77	85	3.0	3.2	31	33	113時間45分58秒	3,308	3,308	3.6	3.5
妊娠満22週以後の死産	56	76	2.2	2.9	…	…	156時間25分42秒	2,638	2,638	2.9	2.8
早期新生児死	21	9	0.8	0.3	…	…	417時間8分34秒	625	625	0.7	0.7
婚姻	15,768	16,573	4.4	4.6	21	15	33分20秒	586,481	606,866	4.7	4.9
離婚	5,923	5,983	1.65	1.66	26	22	1時間28分44秒	208,333	212,262	1.68	1.70
合計特殊出生率			1.50	1.52	24	24				1.42	1.43

(注) 1 出生率・死亡率・自然増加率・婚姻率・離婚率は人口千対、乳児死亡率・新生児死亡率・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出生（出生＋死産）千対、周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率は出生（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。

2 全国順位は、率の高い方から数えた順位である。

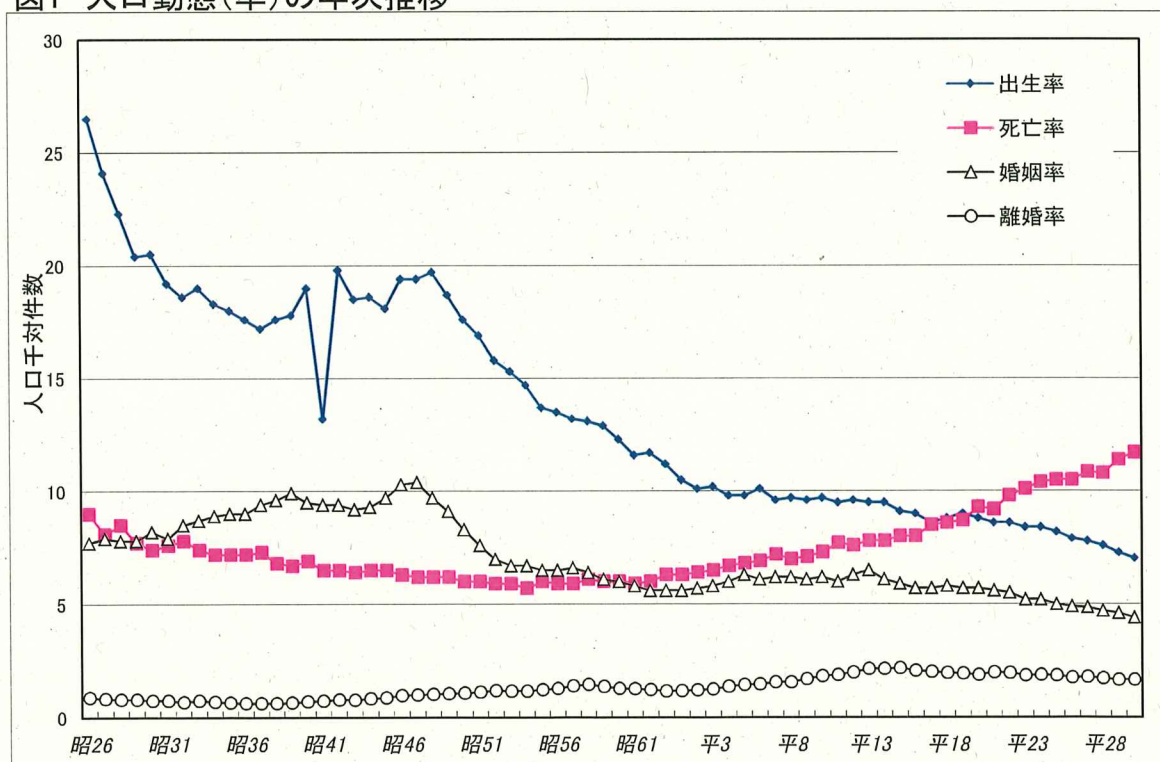
3 諸率の算出に用いた人口は、総務省統計局の平成30年10月1日現在の日本人口

(静岡県… 3,582,000人、 全国… 124,218,285人)

表2 人口動態(実数・率)の年次推移

	出生		死亡		乳児死亡		新生児死亡		死産		婚姻		離婚	
	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率	数	率
昭和40年	55,328	19.0	19,966	6.9	866	15.7	482	8.7	4,431	74.1	27,788	9.5	2,064	0.71
50	58,276	17.6	19,788	6.0	542	9.3	349	6.0	2,709	44.4	27,541	8.3	3,536	1.07
60	43,932	12.3	21,415	6.0	236	5.4	143	3.3	1,819	39.8	21,501	6.0	4,572	1.28
2	37,045	10.1	23,543	6.4	157	4.2	86	2.3	1,464	38.0	20,700	5.7	4,432	1.21
7	35,345	9.6	26,666	7.2	164	4.6	75	2.1	1,086	29.8	22,991	6.2	5,723	1.55
12	35,794	9.6	28,323	7.6	96	2.7	52	1.5	1,088	29.5	23,550	6.3	7,380	1.99
17	31,908	8.6	31,747	8.5	99	3.1	56	1.8	816	24.9	21,056	5.7	7,474	2.01
18	32,905	8.8	32,001	8.6	87	2.6	43	1.3	840	24.9	21,663	5.8	7,281	1.96
19	33,274	9.0	32,507	8.7	81	2.4	48	1.4	750	22.0	21,150	5.7	7,208	1.94
20	32,701	8.8	34,511	9.3	80	2.4	46	1.4	789	23.6	21,193	5.7	6,959	1.87
21	31,901	8.6	34,209	9.2	65	2.0	30	0.9	731	22.4	20,716	5.6	7,352	1.98
22	31,896	8.6	36,420	9.8	68	2.1	34	1.1	716	22.0	20,323	5.5	7,241	1.96
23	31,172	8.4	37,303	10.1	70	2.2	30	1.0	719	22.5	19,093	5.2	6,804	1.84
24	30,810	8.4	38,194	10.4	58	1.9	28	0.9	647	20.6	19,323	5.2	6,878	1.87
25	30,260	8.2	38,393	10.5	64	2.1	32	1.1	646	20.9	18,463	5.0	6,732	1.84
26	28,684	7.9	38,342	10.5	61	2.1	29	1.0	629	21.5	18,066	4.9	6,439	1.76
27	28,352	7.8	39,518	10.9	53	1.9	25	0.9	539	18.7	17,666	4.9	6,504	1.79
28	27,652	7.6	39,294	10.8	46	1.7	23	0.8	538	19.1	17,079	4.7	6,237	1.72
29	26,261	7.3	41,078	11.4	47	1.8	13	0.5	477	17.8	16,573	4.6	5,983	1.66
30	25,192	7.0	41,972	11.7	50	2.0	30	1.2	470	18.3	15,768	4.4	5,923	1.65

図1 人口動態(率)の年次推移



1 出生

(1) 出生数・出生率

平成30年の出生数は25,192人で、前年の26,261人より1,069人減少した。

昭和46～49年の第2次ベビーブーム期には、毎年6万人を超える出生があったが、昭和50年以降はほぼ毎年減少を続け、昭和55年に5万人を、平成元年に4万人を、平成26年は3万人を下回った。

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、30～34歳が最も多く、次いで25～29歳、35～39歳の順となっている。いずれの年齢階級でも出生数は前年より減少した。35歳以上の母親からの出生は全体の26.6%である。

出生率（人口千対）は7.0で、前年の7.3を下回った。

表3 母の年齢(5歳階級)別にみた出生数の年次推移

	出生数				対前年増減		割合	
	平成30年	平成29年	平成28年	20年	30年-29年	29年-28年	30年	20年
総数	25,192	26,261	27,652	32,701	△1,069	△1,391	100.0	100.0
～19歳	214	273	282	504	△59	△9	0.8	1.5
20～24	2,071	2,223	2,324	3,764	△152	△101	8.2	11.5
25～29	6,808	7,143	7,574	10,061	△335	△431	27.0	30.8
30～34	9,408	9,663	10,200	11,918	△255	△537	37.3	36.4
35～39	5,391	5,611	5,859	5,700	△220	△248	21.4	17.4
40歳以上	1,300	1,348	1,413	754	△48	△65	5.2	2.3

(注) 総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 合計特殊出生率

平成30年の合計特殊出生率は1.50で、前年の1.52を下回った。

合計特殊出生率は、昭和55年に2.00、平成7年に1.50を下回り、低下傾向が続いていたが、平成15年以降は総じて上昇傾向となり、現在は横ばいの値をとっている。

表4 合計特殊出生率の年次推移

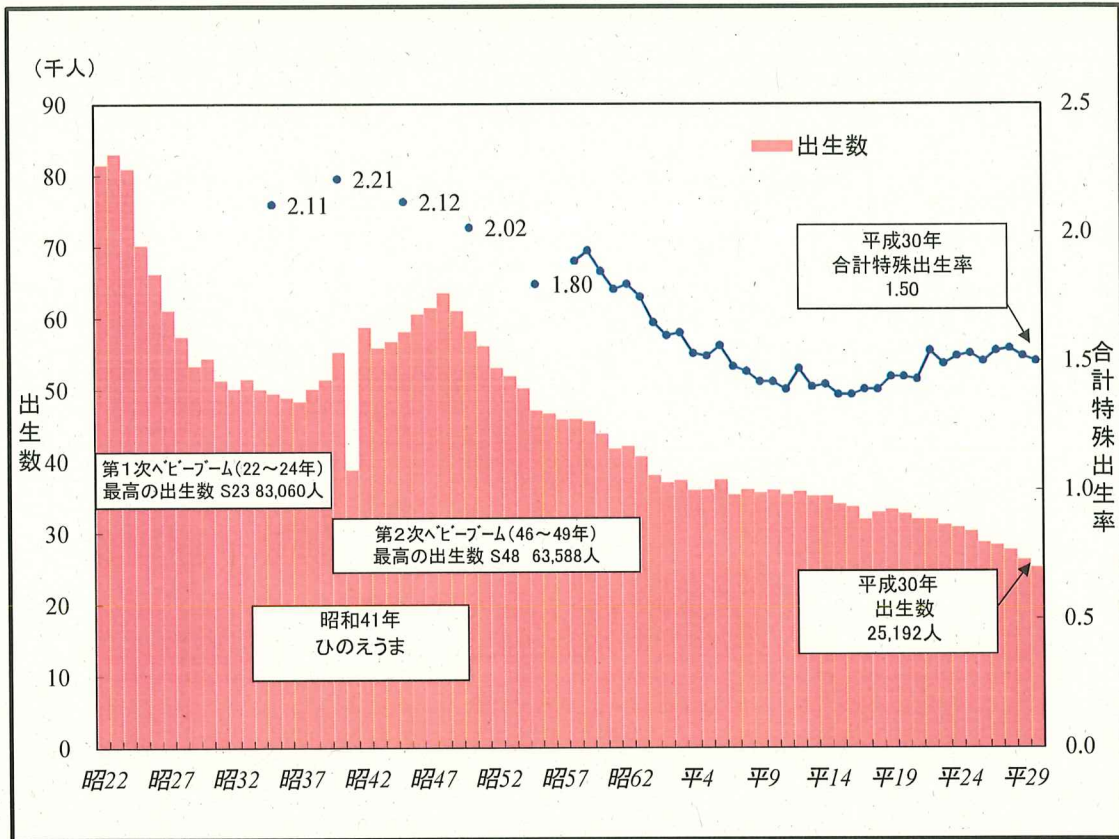
	昭和35年	40年	45年	50年	55年	60年	平成2年	7年	12年	17年
静岡県	2.11	2.21	2.12	2.02	1.80	1.85	1.60	1.48	1.47	1.39
全国	2.00	2.14	2.13	1.91	1.75	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26

22年	23年※	24年※	25年※	26年※	27年	28年	29年	30年
1.54	1.49	1.52	1.53	1.50	1.54	1.55	1.52	1.50
1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42

<参考>

平成26年までの非国勢調査年の都道府県別の合計特殊出生率は、外国人を含む年齢別の女性人口を分母として算出しているため、日本人のみを分母とする年齢別の女性人口を分母とする国勢調査年の値に比べて低い値となる傾向がある。

図2 出生数及び合計特殊出生率の年次推移



2 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成30年の死亡数は41,972人で、前年の41,078人より894人増加した。

死亡数は、昭和30年代以降は2万人前後で推移していたが、昭和50年代の終わりごろから徐々に増加し、平成17年は3万人を、平成29年には4万人を超えた。

平成30年の死亡率（人口千対）は11.7で、前年の11.4を上回った。

昭和22年に13.0であった死亡率は、その後次第に低下し、昭和54年には戦後最低の5.7となった。その後は、昭和60年代からほぼ一貫して上昇を続け、平成15年に8.0を、平成20年には9.0を超え、平成23年には10.0を、平成29年には11.0を超えた。

表5 死亡数及び死亡率(人口千対)の年次推移

	静岡県		全国	
	死亡数	死亡率	死亡数	死亡率
昭和30年	19,741	7.4	693,523	7.8
35	19,935	7.2	706,599	7.6
40	19,966	6.9	700,438	7.1
45	20,302	6.5	712,962	6.9
50	19,788	6.0	702,275	6.3
55	20,550	6.0	722,801	6.2
60	21,415	6.0	752,283	6.3
平成2	23,543	6.4	820,305	6.7
7	26,666	7.2	922,139	7.4
12	28,323	7.6	961,653	7.7
17	31,747	8.5	1,083,796	8.6
18	32,001	8.6	1,084,450	8.6
19	32,507	8.7	1,108,280	8.8
20	34,511	9.3	1,142,407	9.1
21	34,209	9.2	1,141,865	9.1
22	36,420	9.8	1,197,012	9.5
23	37,303	10.1	1,253,066	9.9
24	38,194	10.4	1,256,359	10.0
25	38,393	10.5	1,268,436	10.1
26	38,342	10.5	1,273,004	10.1
27	39,518	10.9	1,290,444	10.3
28	39,294	10.8	1,307,748	10.5
29	41,078	11.4	1,340,397	10.8
30	41,972	11.7	1,362,470	11.0

表6 年齢(5歳階級)別にみた、死亡数・死亡率(人口10万対)

	死 亡 数			死 亡 率		
	平成30年	平成29年	対前年増減	平成30年	平成29年	対前年増減
総 数	41,972	41,078	894	1,171.7	1,139.5	32.2
0～4歳	65	66	△ 1	48.5	47.8	0.7
5～9	10	12	△ 2	6.6	7.7	△ 1.1
10～14	14	16	△ 2	8.7	9.8	△ 1.1
15～19	36	43	△ 7	21.1	24.9	△ 3.8
20～24	46	58	△ 12	33.1	43.0	△ 9.9
25～29	61	53	8	40.1	33.1	7.0
30～34	86	85	1	46.5	44.7	1.8
35～39	119	128	△ 9	57.5	60.1	△ 2.6
40～44	216	230	△ 14	86.7	88.1	△ 1.4
45～49	390	401	△ 11	144.4	151.3	△ 6.9
50～54	553	535	18	234.3	232.6	1.7
55～59	737	792	△ 55	333.5	356.8	△ 23.3
60～64	1,205	1,306	△ 101	528.5	558.1	△ 29.6
65～69	2,541	2,668	△ 127	897.9	886.4	11.5
70～74	3,517	3,268	249	1,406.8	1,396.6	10.2
75～79	4,872	4,764	108	2,298.1	2,323.9	△ 25.8
80～84	6,962	6,904	58	4,324.2	4,369.6	△ 45.4
85歳以上	20,542	19,749	793	11,874.0	11,825.7	48.3

(注) 総数には年齢不詳を含む。

(2) 死 因

平成30年の死亡数を死因別にみると、第1位は悪性新生物<腫瘍>で10,836人、死亡率(人口10万対)302.5、第2位は心疾患で5,980人、死亡率166.9、第3位は老衰で137.2人、死亡率137.2となった。

全死亡者に占める割合は、それぞれ25.8%、14.2%、11.7%であり、死亡の3.9人に1人は悪性新生物で死亡したことになる。

表7 主な死因別死亡数・死亡率(人口10万対)・死因順位

死 因	静岡県						全 国			
	平成30年			平成29年			平成30年		平成29年	
	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数に 占める割合 (%)	死亡数	死亡率 (人口10万対)	死亡数	死亡率 (人口10万対)
全 死 因	41,972	1,171.7	100.0	41,078	1,139.5	100.0	1,362,470	1,096.8	1,340,397	1,075.3
悪性新生物 <腫瘍>	(1) 10,836	302.5	25.8	(1) 10,624	294.7	25.9	(1) 373,584	300.7	(1) 373,334	299.5
心 疾 患	(2) 5,980	166.9	14.2	(2) 5,982	165.9	14.6	(2) 208,221	167.6	(2) 204,837	164.3
老 衰	(3) 4,913	137.2	11.7	(3) 4,571	126.8	11.1	(3) 109,605	88.2	(4) 101,396	81.3
脳血管疾患	(4) 3,737	104.3	8.9	(4) 3,760	104.3	9.2	(4) 108,186	87.1	(3) 109,880	88.2
肺 炎	(5) 2,495	69.7	5.9	(5) 2,545	70.6	6.2	(5) 94,661	76.2	(5) 96,841	77.7
不慮の事故	(6) 1,282	35.8	3.1	(6) 1,279	35.5	3.1	(6) 41,238	33.2	(6) 40,329	32.4
誤嚥性肺炎	(7) 1,233	34.4	2.9	(7) 1,204	33.4	2.9	(7) 38,460	31.0	(7) 35,788	28.7
腎 不 全	(8) 826	23.1	2.0	(8) 833	23.1	2.0	(8) 26,081	21.0	(8) 25,134	20.2
血管性及び詳細 不明の認知症	(9) 668	18.6	1.6	(9) 672	18.6	1.6	(9) 20,521	16.5	(10) 19,546	15.7
間質性肺炎	(10) 628	17.5	1.5	(12) 574	15.9	1.4	(11) 19,321	15.6	(12) 18,549	14.9

(注) 死亡数欄の()内の数字は死因順位を示す。「誤嚥性肺炎」「間質性肺炎」は平成29年から追加された。

表8 性別にみた死因順位別、死亡数・死亡率(人口10万対)

(平成30年)

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第4位	第 5 位
男	死 因 悪性新生物<腫瘍>	心疾患	脳血管疾患	肺 炎	老 衰
	死亡数 6,465	2,904	1,837	1,448	1,372
	死亡率 366.1	164.4	104.0	82.0	77.7
女	死 因 悪性新生物<腫瘍>	老 衰	心疾患	脳血管疾患	肺 炎
	死亡数 4,371	3,541	3,076	1,900	1,047
	死亡率 240.7	195.0	169.4	104.6	57.7

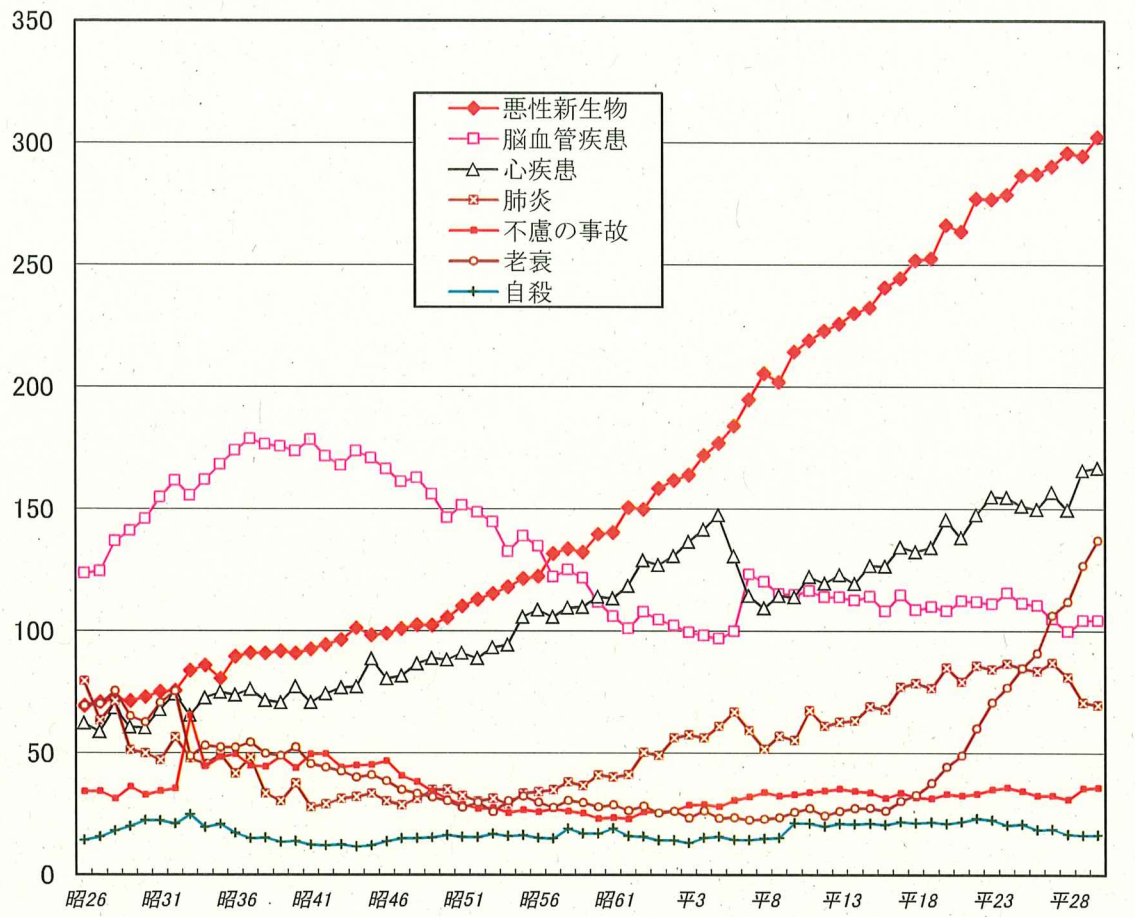
	第 6 位	第 7 位	第 8 位	第9位	第 10 位
男	死 因 誤嚥性肺炎	不慮の事故	慢性閉塞性肺疾患	腎不全	自殺
	死亡数 731	728	461	449	417
	死亡率 41.4	41.2	26.1	25.4	23.6
女	死 因 不慮の事故	誤嚥性肺炎	血管性及び 詳細不明の認知症	腎不全	大動脈瘤及び解離
	死亡数 554	502	434	377	300
	死亡率 30.5	27.6	23.9	20.8	16.5

(注) 死亡率は人口10万対

死亡率の年次推移をみると、悪性新生物は、ほぼ一貫して上昇傾向にあり、昭和57年以降死因順位の第1位となっている。

本県の3大死因の死亡率の全国順位は、高い方から数えて悪性新生物が34位、心疾患が38位老衰が5位となっている。

図2 主な死因別の死亡率の年次推移



(注) 「肺炎」は平成6年まで「肺炎及び気管支炎」である。

悪性新生物について死亡数を部位別にみると、男は「肺」が1,502人で最も多く、以下「大腸」が806人、「胃」が794人、「膵」が574人「肝」が487人の順である。

女は「大腸」が640人で最も多く、以下「肺」が601人、「膵」が518人、「乳房」が413人、「胃」が394人の順となっている。

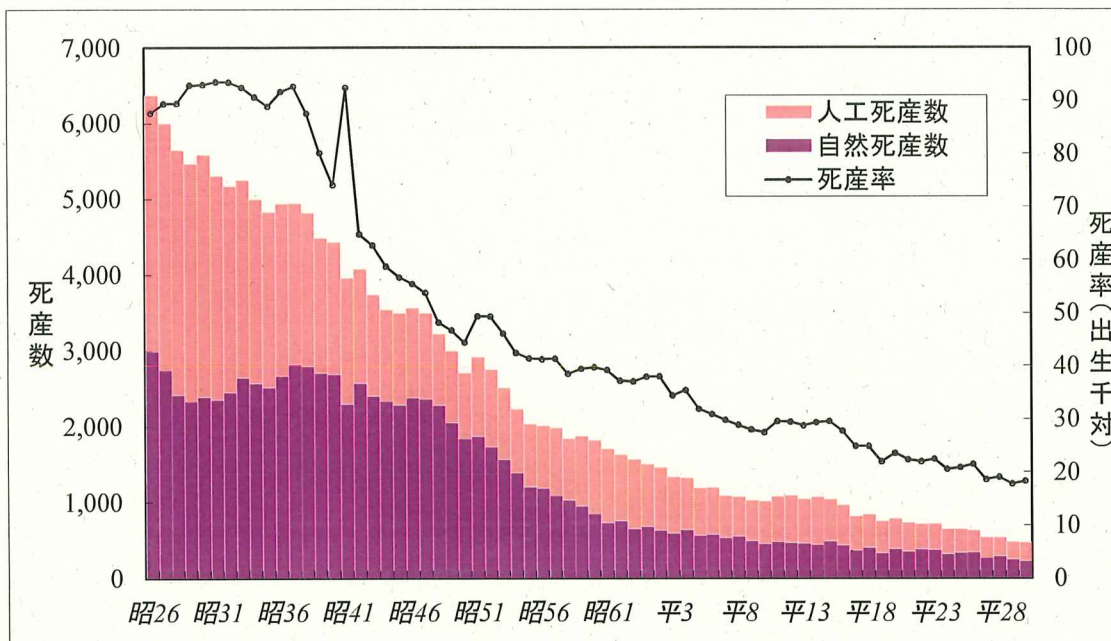
(注) 大腸の悪性新生物は、結腸と直腸S状結腸移行部及び直腸を示す。

3 死産

平成30年の死産（妊娠満12週以後の死児の出産）数は470胎で、前年の477胎より7胎減少し、死産率（出産（出産＋死産）千対）は18.3で前年の17.8を上回った。

死産率の年度推移をみると、昭和37年までは概ね90前後で推移していたが、昭和38年からは昭和41年のひのえうまの影響を除き、急激に低下し、50年には44.4となった。その後は、おおむね低下傾向となっている。

図3 死産数及び死産率の年次推移



4 婚姻・離婚

(1) 婚姻

平成30年の婚姻件数は15,768組で、前年の16,573組より805組減少し、婚姻率（人口千対）は4.4で、前年の4.6を下回った。

婚姻件数は昭和40年代後半には、婚姻件数は3万組を超え、婚姻率も10.0前後を記録した。その後は、件数・率とも減少が続いたが、昭和63年以降は増加に転じ平成4年以降平成14年まで婚姻率は6.0以上であったが、平成26年以降5.0を下回っている。

平均初婚年齢は、夫31.0歳、妻29.1歳で、夫のみ前年より下降した。

表9 婚姻の年次推移

	婚 姻			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	30,036	9.7	1,029,405	10.0
50	27,541	8.3	941,628	8.5
55	22,460	6.5	774,702	6.7
60	21,501	6.0	735,850	6.1
平成2年	20,700	5.7	722,138	5.9
7	22,991	6.2	791,888	6.4
12	23,550	6.3	798,138	6.4
17	21,056	5.7	714,265	5.7
22	20,323	5.5	700,214	5.5
23	19,093	5.2	661,899	5.2
24	19,323	5.2	668,869	5.3
25	18,463	5.0	660,613	5.3
26	18,066	4.9	643,749	5.1
27	17,666	4.9	635,156	5.1
28	17,079	4.7	620,531	5.0
29	16,573	4.6	606,866	4.9
30	15,768	4.4	586,481	4.7

(注) 婚姻率は人口千対

表10 平均初婚年齢の年次推移

	静 岡 県			全 国		
	夫	妻	年齢差	夫	妻	年齢差
昭和45年	26.8	23.9	2.9	26.9	24.2	2.7
50	26.9	24.4	2.5	27.0	24.7	2.3
55	27.8	25.0	2.8	27.8	25.2	2.6
60	28.2	25.3	2.9	28.2	25.5	2.7
平成2年	28.4	25.7	2.7	28.4	25.9	2.5
7	28.6	26.2	2.4	28.5	26.3	2.2
12	28.7	26.8	1.9	28.8	27.0	1.8
17	29.8	27.8	2.0	29.8	28.0	1.8
22	30.4	28.5	1.9	30.5	28.8	1.7
23	30.5	28.6	1.9	30.7	29.0	1.7
24	30.7	28.8	1.9	30.8	29.2	1.6
25	30.8	29.0	1.8	30.9	29.3	1.6
26	31.0	29.1	1.9	31.1	29.4	1.7
27	31.0	29.2	1.8	31.1	29.4	1.7
28	31.1	29.2	1.9	31.1	29.4	1.7
29	31.1	29.1	2.0	31.1	29.4	1.7
30	31.0	29.1	1.9	31.1	29.4	1.7

(注) 各届出年に結婚生活に入ったもの

(2) 離 婚

平成30年の離婚件数は5,923組で、前年の5,983組より60組減少し、離婚率（人口千対）は1.65で、前年の1.66を下回った。

離婚件数は、昭和37年以降毎年増加したが、昭和58年の5,075組をピークに減少した後、平成元年以降は再度増加を続け、平成15年に8千組を超えた。平成16年以降、減少傾向が続いている。

表11 離婚の年次推移

	離 婚			
	静 岡 県		全 国	
	件 数	率	件 数	率
昭和45年	2,701	0.87	95,937	0.93
50	3,536	1.07	119,135	1.07
55	4,202	1.22	141,689	1.22
60	4,572	1.28	166,640	1.39
平成2年	4,432	1.21	157,608	1.28
7	5,723	1.55	199,016	1.60
12	7,380	1.99	264,246	2.10
17	7,474	2.01	261,917	2.08
22	7,241	1.96	251,378	1.99
23	6,805	1.84	235,734	1.87
24	6,878	1.87	235,406	1.87
25	6,732	1.84	231,383	1.84
26	6,439	1.76	222,107	1.77
27	6,504	1.79	226,215	1.81
28	6,237	1.72	216,798	1.73
29	5,983	1.66	212,262	1.70
30	5,923	1.65	208,333	1.68

(注) 離婚率は人口千対